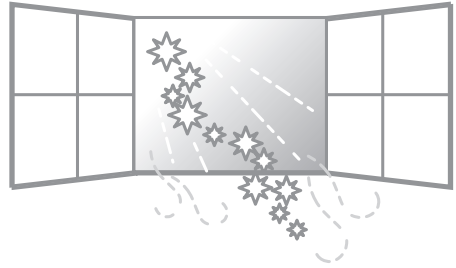


# おはようございます

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



**朝**、登校してくる子どもたちに声をかけています。

ところが、元気に返してくれる子どもは少なく、自分からあいさつをする子どももたちらず、いつも同じ顔ぶれというのが毎朝の様子です。

朝礼の時、全校児童に話をする時など、いろいろな機会です。「あいさつを進んでしましよう」と呼びかけていますが、なかなか習慣として根付いていきにくいというのが現状です。また「ありがとう」といったような感謝の言葉を聞くことも、少ないように感じています。子どもは、大人の行動や言葉を真似て学ぶといいますが、今の社会の中では、大人たちがあいさつをしたり、感謝の言葉を交わし合ったりする場面を見ることが少ないのではないかと私は思います。

**殿** 田小学校では、十一月七日から一カ月間、

『かがやこう自分、とどけようあたたかい心』をテーマに掲げ、人権月間の取り組みを行っています。  
「自分に誇りを持ち、自分

自身を大切にできる子は、ほかの子に対しても優しくなれる。友だちを大切にできる」そして、「友だちと仲良くしていこう」と呼びかけています。

友だちが心を込めて言ってくれた「おはよう」や「さようなら」そして「ありがとう」などの言葉が、自分の心を「温かくしてくれた」と感じた時、人は相手を素敵だと思ひ、仲良くなりたと思うのではないのでしょうか。

子どもたちがそれを実感した時、これからも続けようと努力することで、あいさつや感謝の言葉を言い合うことが習慣として身に付いていくのではないかと思います。

**私** は、「学校とは先生次第です」という言葉を思い出します。お互いがある

さつや感謝の言葉を交わし合いながら「心が和み、安心感が湧くこと」などの多くの経験を重ねていくことで、明るい学校や社会をみんなで作っていくきたいと思います。

(殿田小学校)

校長 下村 虔



井上 海さん(3年)



小畑 紗良さん(2年)



勝山 萌恵さん(1年)



藤林 裕子さん(3年)



市原 萌さん(2年)



市川 勝也さん(1年)

なんたんミュージアム 5

—南丹市立美山中学校—